

## 秋田県公衆衛生学雑誌投稿規程

1. 秋田県公衆衛生学雑誌は秋田県公衆衛生学会の機関誌であり、公衆衛生全般にわたる総説、原著論文、短報、報告、その他の投稿を受け付ける。
  - 1) 総説：公衆衛生に関する諸問題を客観的な資料・考察に基づいて広い視点から論じたもの。
  - 2) 原著：独創性のある理論的または実証的な研究で、完成度の高いもの。
  - 3) 短報：独創性、緊急性のある萌芽的研究で、発展性の期待できる研究を手短にまとめたもの。
  - 4) 報告：公衆衛生活動に役立つ実践報告や事例報告など。
  - 5) その他：論壇、随想、意見など編集委員会で必要性を認めたもの。
2. 原稿は邦文でも英文のいずれも受け付ける。
3. 投稿論文は未発表・未掲載のものとする。
4. 投稿原稿の査読、採否および掲載順序などは編集委員会において決定し、編集委員長の名で著者に連絡する。
5. 投稿原稿は、秋田県公衆衛生学雑誌編集委員会宛（〒010-8543 秋田市本道 1-1-1 秋田大学大学院医学系研究科衛生学・公衆衛生学講座内 秋田県公衆衛生学雑誌編集委員会事務局 E-mail: hygiene@med.akita-u.ac.jp）に送付する。また、書面に総説、原著、短報、報告、その他のいずれのカテゴリーとして投稿するのかを明記する。
6. 掲載された原稿の著作権は秋田県公衆衛生学会に帰属する。ただし、執筆者が使用する場合、本会の承諾を必要としない。冊子体刊行後、電子化および公開を行う。原稿中に他の著作権者による図版、写真、記事等がある場合はその著作権者に電子化公開の許可を得ること。
7. 原稿作成上の注意事項
  - 1) 和文原稿は現代かなづかいで、横書きとし、A4判の用紙を用いる。1ページの字数は読みやすければ、22字×25行ということにこだわらない。英文論文の場合はA4判タイプ用紙にダブルスペースで印字する。段組など特別な書式は用いないこと。
  - 2) 外国語の人名、地名、学名はカタカナでもよい。
  - 3) 和文・英文のいずれの原稿でも、氏名、所属、連絡先を英文でも記載する。原著論文の場合には緒言 (Introduction)、方法 (Methods)、結果 (Results)、考察 (Discussion) として見出しをつけて記載すること。
  - 4) 原稿の1頁目には、表題、著者名、所属機関名、別刷請求先、連絡先住所、表および図の数などを記載すること。
  - 5) 図、表および写真には図 1、表 1 および写真 1 などの番号をつける。表は1頁に1つとする（図、写真についても同じ）。図、表および写真は白黒で掲載されるので、白黒で十分理解できるものを作成すること。図は原則としてそのまま掲載できる明瞭なものとする。
  - 6) 度量衡などの単位は国際単位を用い、略号の後のピリオドはつけない。  
例) 長さ：km, m, cm, mm,  $\mu\text{m}$ , nm; 重さ：kg, g, mg,  $\mu\text{g}$ , ng, pg  
容量：l, ml,  $\mu\text{l}$ ; 時間：h, min, s

- 7) 引用文献は本文の引用箇所の右肩に片カッコをつけて、引用順に番号を付し、末尾には次の記載例に従って番号順にまとめる。

雑誌の場合、全著者名（7名以上の場合は6名まで記し、以下は英文の場合 et al., 日本語の場合 他. とする）。表題. 雑誌名 年号; 巻数: 頁-頁. の順に記す。引用雑誌の略称は医学中央雑誌収載誌目録および Index Medicus に準拠する。

- (1) 田島静, 千々和勝己. 初夏に某小学校で発生した小型球形ウイルス (SRSV) による集団食中毒事例. 日本公衆衛生雑誌 2003; 50: 225-233.
- (2) Adamson J, Hunt K, Ebrahim S. Socioeconomic position, occupational exposures, and gender: the relation with locomotor disability in early old age. J Epidemiol Community Health 2003; 57: 453-455.

単行本の場合、編・著者名. 書籍名. 所在地: 発行所, 発行年: 頁. の順に記す。引用頁は全般的な引用の場合には省略することができる。

- (3) 川上剛, 藤本瞭一, 矢野友三郎. ISO 労働安全・衛生マネジメント規格. 東京: 日刊工業新聞社, 1998.
- (4) Detels R, McEwen J, Beaglehole R, Tanaka H. Oxford Textbook of Public Health. The Scope of Public Health. Fourth Edition. Oxford: Oxford University Press, 2002.
- (5) 川村治子. リスクマネジメント. 高野健人他編, 社会医学事典. 東京: 朝倉書店. 2002; 98-99.
- (6) Detels R, Breslow. Current scope and concerns in public health. In: Detels R, McEwen J, Beaglehole R, Tanaka H. Oxford Textbook of Public Health. The Scope of Public Health. Fourth Edition. Oxford: Oxford University Press, 2002; 3-20.

- 8) 図, 表, 写真とその説明文は本文とは別にまとめ, 本文原稿に挿入箇所を明示する。
- 9) 投稿原稿の内容が倫理的配慮を必要とする場合は, 必ず「方法」の項に倫理的配慮や研究対象者への配慮をどのように行ったかを記載すること。なお, ヒトを対象にした研究では, ヘルシンキ宣言ならびに文部科学省・厚生労働省・経済産業省「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」あるいは他の適切な指針に従うこと。動物を対象にした研究では, 実験が実施された組織における実験動物に係わるガイドラインに則した研究であることが求められる。倫理審査委員会の承認を得て実施した研究は, 承認した倫理審査委員会の名称および承認年月日を本文中 (方法) に記載する。
- 10) 当該研究遂行や論文作成に際して, 企業・団体等から研究費助成, 試料提供, 便宜供与などの経済的支援を受けた場合は, 謝辞等にその旨を記載しなければならない。
- 11) 論文に係わる利益相反を論文中に記載すること。利益相反がないと記載する場合には下記の通りとする。

和文の場合

利益相反: 著者には開示すべき利益相反はない。

英文の場合

Conflict of interest: The authors have no conflicts of interest to declare.

- 12) 校正は原則として初校のみ著者が行う。文章の削除, 挿入等は特別な理由がない限り認められない。